

クリエイティブ プロフェッショナル向けアドビ ソリューション

Adobe® Creative Suite、Adobe Studio、After Effects®等、Macintosh 版アドビ製品ユーザ向け
インテル®製マイクロプロセッサを搭載した Macintosh®に対するアドビのサポートに関する FAQ

Q. アドビは新しく発表されたインテル製マイクロプロセッサを搭載した Macintosh をサポートしますか。

A. はい、サポートします。アドビはインテル製マイクロプロセッサを搭載した新しい Macintosh のサポートを公式に発表しています。2005 年 6 月 6 日には、サンフランシスコで開催されたアップルの「Worldwide Developer Conference」の基調講演にアドビ CEO のブルース チゼン (Bruce Chizen) が参加し、Macintosh をインテル製マイクロプロセッサ搭載モデルへと移行するというアップルの決断を、大いに支持することを表明しました。ブルースの発言は次の通りです。「これはアップルにとって非常に優れた判断であると確信しており、PowerPC®プロセッサとインテル製マイクロプロセッサを搭載する Macintosh 向けに、Adobe Creative Suite の新たなバージョンを開発する予定です。」これより最近の出来事としては、「Macworld 2006」でアップルは新製品のインテル製マイクロプロセッサを搭載した Macintosh (iMac、MacBook Pro) の出荷を予定よりも早く開始すると発表しています。

Q. これはアドビの製品開発計画にどのような影響を及ぼしますか。

A. Mac OS®対応クリエイティブ製品の次のバージョンでは、インテルと PowerPC®の両方のマイクロプロセッサをサポートする予定です。アドビの開発チームは現在、以下をはじめとする各種製品について移行およびその検討を行っています。

- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| • Adobe Creative Suite | • Adobe After Effects® |
| • Adobe Photoshop® | • Macromedia® Studio |
| • Adobe Illustrator® | • Dreamweaver® |
| • Adobe InDesign® | • Flash® Professional |
| • Adobe GoLive® | • Flash Basic |
| • Adobe InCopy® | • Fireworks® |
| • Adobe Acrobat® Professional | • Contribute® |

Q. インテル製マイクロプロセッサを搭載した Macintosh をサポートするため、アドビが行っている作業にはどのようなものがありますか。

A. アドビは 20 年以上にわたって主要な Mac OS 対応ソフトウェアの開発企業であり続け、次世代 Macintosh のサポートはアドビにとって当然の流れといえます。さらに、アドビはインテル製マイクロプロセッサを搭載した Macintosh で実現が見込まれる、処理速度やパフォーマンスの向上、さらには、クリエイティブ プロフェッショナルが享受するであろう生産性の向上に関して非常に期待しています。アップルによるこの最新のコンピュータ システムをサポートするため、アドビは次のような作業を行っています。
・アドビの Macintosh 版ソフトウェアの開発をアップルの Xcode に移行。これによって、インテル製マイクロプロセッサを搭載した新しい Macintosh と PowerPC を搭載した従来型の Macintosh のいずれにおいて

もネイティブで実行可能なユニバーサル アプリケーションを提供できるようになります。

何千時間にも及ぶ検証作業を行うことで、ユニバーサル バージョンのアドビ アプリケーションがクリエイティブ プロフェッショナルが求める品質水準に応えるものであることを保証します。これには、2006 年度第 1 四半期に出荷される新型 iMac および MacBook Pro のほか、アップルが今後発表するすべてのインテル製マイクロプロセッサを搭載したデスクトップ システムの検証が含まれます。

アドビ製品向けプラグインやシステムを開発するサードパーティ デベロッパーやシステム インテグレータを数多くサポートし、開発ツールをアップルの Xcode へと移行。

また、アドビは Adobe Lightroom™パブリックベータ版（英語版）のユニバーサル バージョンについて、近日中に無償ダウンロードを開始します。同ベータ版は正規の出荷製品ではないため、製品版で必要とされる徹底的な検証を行うことなく迅速に出荷することが可能です。ユーザは、ベータ版を検証し、今後のアドビ製品のユニバーサル バージョンでは、どの程度の性能レベルが見込まれるのかを実感していただきたいと思います。

アドビは徹底的な検証を経たユニバーサル アプリケーションを提供し、アドビ製品を支えるエコシステムの移行作業を進めることにより、Macintosh 版ユーザがインテル製マイクロプロセッサを搭載した新しいシステムへとスムーズに移行できるよう取り組んでいます。

Q. Adobe Creative Suite 2 や Adobe Studio 8、あるいは、Adobe Photoshop CS2、Adobe InDesign CS2、Adobe Illustrator CS2、Dreamweaver 8、Flash Professional 8、Adobe After Effects 7.0 などの個別製品について、ユニバーサル アプリケーションにするためのアップグレードを行うのですか。

A. いいえ、行いません。現行製品については、インテルと PowerPC のいずれのプロセッサを搭載したシステムでもネイティブで実行可能なユニバーサル バージョンの提供は考えていません。これは、Adobe Photoshop CS2、Adobe InDesign CS2、Adobe Illustrator CS2、Adobe Acrobat 7.0 Professional、Dreamweaver 8、Flash Professional 8、Adobe After Effects 7.0 に関しても同様です。その代わりに、アドビは、次のバージョンにおいて、インテル製マイクロプロセッサを搭載した新しい Macintosh 上でネイティブでの実行が可能なユニバーサル アプリケーションを提供することに注力します。インテル製マイクロプロセッサを搭載した Macintosh のサポートに向けた業務を通常の開発プロセスに組み込むと同時に、クリエイティブ分野のユーザの期待に沿った、製品機能の強化やクリエイティブ ワークフローのサポートを充実させ、顧客に最大限の価値を提供していきます。

Q. ユニバーサル バージョンへの対応について、なぜ次回のメジャーリリースまで待たなければならないのですか。

A. 互換性の問題がアプリケーションの機能全体に関わってくるため、オペレーティングシステムやプロセッサの移行にソフトウェアを対応させるには相当量の検証作業が必要となります。長年にわたってソフトウェア開発プロセスの改善を進めてきた中で、このような変化に対応する最も効果的な手法は、検証作業

を通常の開発サイクルに組み込むことが、明らかに一般的です。これによってアドビは、顧客の期待を上回るペースでその技術を進化させることができるほか、新しいシステムの重要なコンフィギュレーションに対応することができます。従って、アドビは Mac OS X プラットフォームのインテルプロセッサへの移行についても、Mac OS 9 から Mac OS X への最初の移行の際と同様に対応することが最善のアプローチであると考えています。Mac OS X (10.0.0) 出荷後 18~24 カ月の間、アドビは 10 種類以上の製品について、Mac OS X 上でネイティブで動作させるために仕様を見直しましたが、通常の商品出荷サイクルの一貫として行われました。このように、アドビは系統立てたアプローチを採用することにより、新しいプラットフォームに対応した、信頼性の高い、豊富な機能を備えた最新バージョンを提供し、優れたサービスを顧客に提供することができました。

Q. クリエイティブ プロフェッショナル向け製品の次のバージョンは、いつごろ出荷される予定ですか。

A. アドビは将来の出荷予定日に関しては発表しない方針を持っています。ただ、おおよその目安としては、これまでクリエイティブ プロフェッショナル向け製品のメジャーアップグレードは、一貫して 18~24 カ月ごとに行っています。

Q. Adobe Creative Suite 2 や Adobe Studio 8 など、現行のアドビ製品は、インテル製マイクロプロセッサを搭載した Macintosh 上で実行できますか。

A. アップルは既存のアプリケーションの互換バージョンがメーカーから発売されるまで、動的な変換を行うことでそれらのアプリケーションをインテル製マイクロプロセッサを搭載した Macintosh 上で実行できるようにする Rosetta を Mac OS X に組み込んでいます。Adobe Creative Suite 2、Adobe Studio 8、およびそれら構成製品、および Adobe After Effects 7.0 は 1 つのツール (Version Cue™) を除いて (次の質問を参照) Rosetta 上で動作します。ただし、クリエイティブ プロフェッショナル向け製品を Rosetta で実行するには以下の点にご注意下さい。

・パフォーマンス: アドビのクリエイティブ プロフェッショナル向け製品を含め、インテル製マイクロプロセッサを搭載した Macintosh 向けに開発されていない製品のパフォーマンスは一般的に、PowerPC 搭載 Macintosh 上で実行した際と比べて著しく遅くなる可能性があります。大いに期待されてきたスピードの向上ではなく、何らかのパフォーマンス低下が発生すると思われる。これらパフォーマンス上の問題、特に複数のアプリケーションを Rosetta で一度に実行する際の問題は、1 ギガバイト以上の RAM を搭載することである程度緩和できます。しかしながら、最適なパフォーマンスを必要とする Macintosh ユーザは、アドビがユニバーサル アプリケーションを出荷するまで Adobe Creative Suite 2、Adobe Studio 8 およびそれらの構成製品は PowerPC 搭載システムで使用された方が賢明かもしれません。

・互換性等の問題: アドビのクリエイティブ プロフェッショナル向け製品については、Rosetta での徹底的な検証は行われていないため、これらのアプリケーションを Rosetta で実行した場合には、互換性等の問題が発生する可能性があります。問題点については調査を継続し、判明したものに関してはサポートデータベース <<http://www.adobe.co.jp/support/main.html>>を通じて提供します。

・プラグインのサポート: アドビのクリエイティブ プロフェッショナル向け製品用のサードパーティ製プラ

グインのユーザは、Rosetta での実行に対応しているかどうかをプラグイン開発元にお問い合わせください。

Rosetta の詳細については、アップルの Web サイト (<http://www.apple.com/jp/rosetta/>) をご覧ください。

Q. Adobe Creative Suite 2、Adobe Studio 8、Adobe After Effects 7.0 を Rosetta で実行する場合について、何らかの問題点は判明していますか。

A. 2006 年 1 月 31 日時点では、Adobe Studio 8 または Adobe After Effects 7.0 を Rosetta で実行するにあたり、先に述べた (上記質問参照) パフォーマンス低下の可能性以外に判明している問題点はありません。ただし、Adobe Creative Suite 2 に関しては問題が 1 つ判明しています。コンポーネントの 1 つ、Version Cue Workspace (Server) は Rosetta では実行できません。Version Cue Workspace によるファイル共有、バージョン管理、レビュープロセスへの参加は、インテル製マイクロプロセッサを搭載した新しい Macintosh にネットワーク接続された PowerPC または Windows® 上で Version Cue がインストールされ、稼働している場合にのみ可能です。さらなる問題が判明した場合は、サポートデータベース (www.adobe.co.jp/support/main.html) 上でお伝えします。

Q. アドビ製品を Rosetta で実行するにあたり、テクニカルサポートは受けられますか。

A. アドビ製品に関しては、通常通りサポートします (アドビの無償および有償サポート プログラムに関しては <http://www.adobe.co.jp/support/main.html> をご覧ください)。ただし、Rosetta での実行に伴って発生する、インストールや互換性等の問題については対応できない可能性もあります。

PowerPC および Windows 上でのアドビ製品の使用については徹底的な検証を経た上で認証を行っています。大半の既存製品については、Rosetta を通じ、インテル製マイクロプロセッサを搭載した Macintosh 上で実行するための基本的な互換性が確保されます。パフォーマンスや互換性等の問題が発生する可能性があります。アドビは Rosetta での実行に関しては徹底的な検証と認証を行っていません。その代わりとして、アドビは次のメジャーアップグレード時に、ユニバーサル バージョンをサポートするため、ソフトウェア開発作業をアップルの Xcode に移行することに注力しています。

既知の問題については、サポートデータベース (<http://www.adobe.co.jp/support/main.html>) を通じて提供しており、Rosetta による問題に関するお問い合わせはこちらをご参照ください。Rosetta による実行中に問題を発見されたユーザは、アドビ Web サイト (www.adobe.com/misc/bugreport.html) 上で (英語にて) ご連絡ください。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Illustrator、Acrobat、After Effects、Contribute、Dreamweaver、Fireworks、Flash、GoLive、InCopy、InDesign、Lightroom、Macromedia、Photoshop および Version Cue は Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。Macintosh および MacOS は米国およびその他の国々における Apple Computer, Inc. の登録商標です。Windows は

Microsoft Corporation の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。インテルはIntel Corporation またはその子会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。PowerPCは International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

(C) 2006 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.